石脇川・高草川流域総合的治水対策アクションプラン　～これまでの対策による整備効果～

水災害対策プラン
イメージ

資料2-3

第１期（H19～H23）の取組

平成15年7月3日の降雨（時間雨量50mm相当）に対して、浸水被害が頻発している3地区で床上・床下浸水を概ね解消することを目標とし、関係部局が連携して様々な対策を実施した結果、平成23年度末時点で概ね目標が達成されました。

第２期（H24～）の取組

平成16年6月30日の降雨（時間雨量65mm相当）に対して、2地区（石脇川下流工区及び斎場周辺地区＆国道150号及び周辺地区）の床上浸水を概ね解消し、国道150号の通行不可を回避することを目標とし、関係部局が連携して対策を進めた結果、国道150号の通行不可が解消されました。

全国的には、平成16年6月30日の時間雨量65㎜を超えるような大雨が各地で降っているため、住民の皆さんと協働したさらなる減災対策が必要です!!

3地区でのハード対策

アクションプランの体系

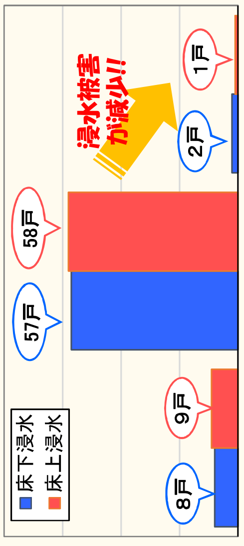
総合的治水対策

- ハード対策
  - 洪水処理施設の整備
    - 石脇川や高草川の川幅の狭い場所を改修し、川の水が速やかに流れるようにします
    - 浸水の多い場所から石脇川へ至る排水路や下水道（雨水きょ）などの整備を行います
  - 流出抑制対策
    - 公共・公益施設等を活用し雨水貯留浸透施設を設置し、川や下水道への雨水の流出を抑制します
    - 無秩序な開発を抑制するとともに、農地や山林を保全し、現状の貯留・保水機能を保持します
- ソフト対策
  - 浸水被害軽減対策
    - 雨量・水位の情報提供や、ハザードマップの配布により、地域の防災意識の向上を図ります
    - 水防活動の充実を図り、水害時の被害を最小限にとどめます
  - 石脇川下流部の環境対策
    - 下水道（汚水きょ）を整備して石脇川の水質改善を図るとともに、下水道整備区域の各世帯および工場などについて下水道への接続を推進します
    - 地域の協力を得て、生活排水への取り組み、河川美化活動への取り組みを行います

実際の雨に基づく効果

平成26年10月の台風18号では、過去に浸水があった豪雨と同程度の雨量が観測されましたが、浸水被害は減少し、国道150号の冠水による通行止めもありませんでした。

	H15.7.3	H16.6.30	H26.10.6
	第1期目標降雨	第2期目標降雨	台風18号降雨
時間最大雨量	52mm	65.5mm	45mm
24時間最大雨量	176mm	214mm	304.5mm
国道150号	片側通行止め	11時間通行止め	通行止め無し



国道150号及び周辺地区

◆ 高草川ネック部（川幅の狭い部分）の改修

高草川の東海道線下や新幹線下の川幅の狭くなっている箇所の川幅を広げ、より多くの水を速やかに流せるようになりました。（第１期整備済）

東海道本線下の高草川

石脇川下流工区及び斎場周辺地区

◆ 石脇川下流工区改修

石脇川の川底を掘って水を多く流せるように改修します。また、石脇川につながる支川水路や下水道も水が多く流せるように整備します。
（第１期浜当目雨水幹線下流整備済）
（第２期斎場周辺水路整備中）

石脇川下流工区

石脇トンネル上流地区

◆ 北部排水路整備

高草川と石脇川の水の一部を朝比奈川へ持っていくことにより、高草川に流れる水の量を減らし、下流での氾濫を軽減します。
（第１期整備済）

北部排水路

石脇川・高草川流域総合的治水対策アクションプラン　～ 今後の対策と流域全体でのソフト対策 ～

第2期(H24～)の対策と令和元年度の取組

地区毎で実施する今後の対策は・・・

石脇川下流工区及び斎場周辺地区

・**斎場周辺水路の整備(ポンプ増設含む)**を実施します。
・**石脇川下流工区の改修**を行います。

《令和元年度の取組》
・斎場周辺水路の整備を引き続き実施しました。
・H28年度に当目小橋の架替が完了し、石脇川改修(護岸整備)を引き続き実施しました。

(主な対策と実施スケジュール)

		施策メニュー	H30	R1	R2	R3	R4
			第2期計画				
ハード対策	水位低下対策	○斎場周辺水路の整備(ポンプ増設含む)					
		○石脇川下流工区の改修					
	環境対策	○下水道(汚水渠)の整備	H29完了				

床上浸水被害解消

国道150号及び周辺地区

・H16年6月30日豪雨に対して、**国道150号の冠水による通行不可が回避できる高さまで道路を嵩上げ**します。
・**高草川遊水地を整備し、高草川からの越流を軽減**します。

《令和元年度の取組》
・H28年度に国道150号の嵩上げが完了しました。
・高草川遊水地の整備を引き続き実施しました。

(主な対策と実施スケジュール)

		施策メニュー	H30	R1	R2	R3	R4
			第2期計画				
ハード対策	水位低下・冠水対策	○国道150号の嵩上げ	国道150号 通行不可回避(H28完了)				
		○高草川遊水地の整備 (国道150号嵩上分　～H28) (高草川越流軽減分　～R4)					

高草川遊水地 暫定供用(H28)　　高草川遊水地 本格供用

石脇トンネル上流地区

・**第1期5ヵ年で実施したハード対策で当初の目標は達成**しており、引き続き地域防災力の維持・向上に努めるため、**ソフト対策を重点的に実施**します。
・新たに有効な対策についても検討します。

《令和元年度の取組》
・流域内で陸閘操作訓練など継続的な取組を実施しました。

(主な対策と実施スケジュール)

	施策メニュー	H30	R1	R2	R3	R4
		第2期計画				
ソフト対策	○雨量・水位監視システムの構築及び情報共有			継続的に実施		
	○水害版図上訓練の実施及び手作りハザードマップの作成・配布			継続的に実施		

流域でのソフト対策

住民の皆様と協働して、減災に努めています!!

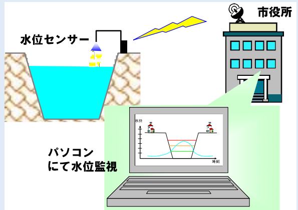
◆水害版図上訓練(R-DIG)の実施

「地域防災力」の向上を目的に、地域住民の方に水害時や事前の対応を学んでいただく訓練を実施しています。また、その成果として『手作りハザードマップ』を作成しています。
(※R-DIG:River(河川),Disaster(災害),Imagination(想像力),Game(ゲーム)の略)

平成28年7月28日に東益津第16自治会の住民の皆さんと水害版図上訓練を実施しました。

◆焼津市水位監視システムの構築

河川水位を常時観測しています。今後は水位情報等の見える化を推進していきます。
これにより、住民のみなさんの自主的な避難に役立てていただくことを考えています。



◆雨量・水位データの公表(県)

静岡県のHPで、県下の雨量・水位データの公表をしています。(SIPOS-RADAR)

※お近くの雨量は中港、河川水位は入江橋(瀬戸川)でご確認ください。

■パソコンで
URL:http://sipos.shizuoka2.jp/sipos/

静岡県の水位、雨量、気象情報を確認するなら
サイポスレーダー　検索

■携帯電話で
左のQRコードを携帯電話で読み取ってください。携帯電話版サイポスレーダーにアクセスします。

◆河川管理施設等の適切な維持管理

護岸や排水機場、水門等の機能を確保するために、適切な維持管理を行います。

平成30年5月に「志太榛原地域大規模氾濫減災協議会」を設立しました。
「水防災意識社会の再構築」に向けて、石脇川・高草川流域を含む島田土木事務所管内の全市町・全流域を対象とした減災協議会です。「水防災意識社会の再構築」とは、**「堤防などの施設では防ぎきれない大洪水は必ず発生する。」**との前提にたって、大洪水が発生した場合でも、逃げ遅れをなくす、経済被害を最小化するなど、減災に向けた取組を社会全体で推進する取組です。
URL:http://doboku.pref.shizuoka.jp/desaki2/shimada/topics/sub_gennsaikyogikai.html

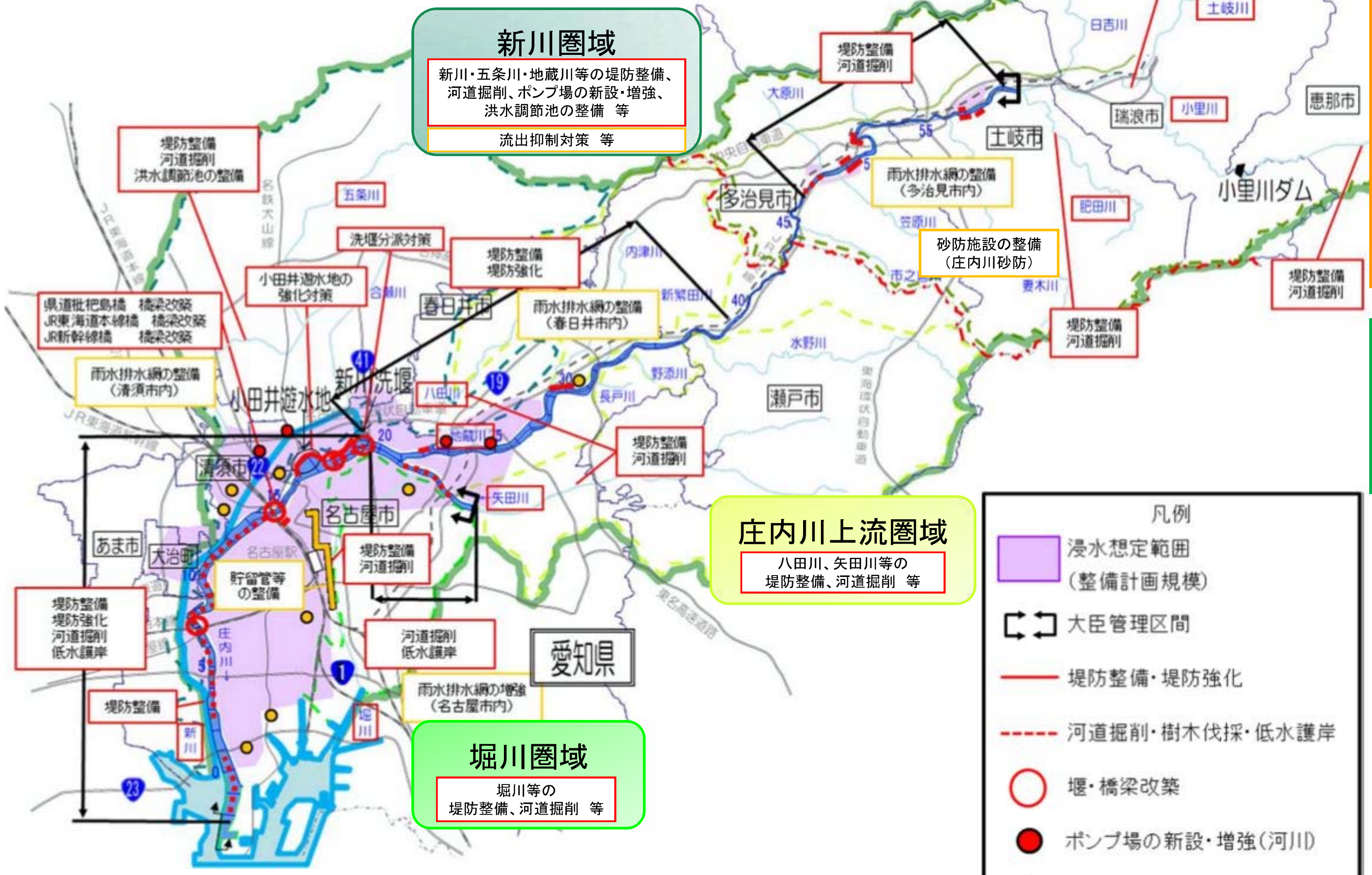
➤ **皆様の声をぜひお聞かせ下さい。お待ちしています。**
・静岡県島田土木事務所　企画検査課　TEL:0547-37-5272
・　　〃　　工事第2課　TEL:0547-37-1086
・焼津市　河川課　TEL:054-626-1118
・藤枝市　河川課　TEL:054-643-3111(代表)
➤ **アクションプランのHP** URL:http://doboku.pref.shizuoka.jp/desaki2/shimada/oshirase/070601/action.html

庄内川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～東西を繋ぎ、日本経済を支える名古屋都市圏を水害から守る流域治水対策～

流域治水プロジェクトのイメージ

○ 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、庄内川水系においても、事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施し、国管理区間においては、観測史上最大となった平成12年9月洪水（東海豪雨）および平成元年9月洪水と同規模の洪水が発生しても安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図る。



凡例
- 浸水想定範囲（整備計画規模）
- 大臣管理区間
- 堤防整備・堤防強化
- 河道掘削・樹木伐採・低水護岸
- 堰・橋梁改築
- ポンプ場の新設・増強（河川）
- ポンプ場の新設・増強（下水道）

県境　市町村境　流域境

※〇〇川 は、県・政令市管理河川の代表的な箇所（河川）を示したものである。

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

■**河川における対策**

全体事業費　約３，２６６億円

対策内容　　堤防整備、河道掘削、橋梁改築　等

■**流域における対策**

・流出抑制対策
（既存ダム２ダムにおける事前放流等の実施・体制構築（関係者：国、土岐川防災ダム一部事務組合など）、貯留管等の整備）
・土砂災害対策
（砂防施設の整備）
・内水被害軽減策
（雨水排水網の新設・増強、ポンプ場の新設・増強）
・早期復旧に備えた対策
（防災拠点の整備、緊急河川敷道路の整備）
・頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組を検討　等

■**ソフト対策**

・被害軽減対策
（避難場所や経路に関する情報の周知、住民の防災意識向上のための取組）
・ソフト対策のための整備
（危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設）　等

雨水調整池の整備（●●市）

庄内川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ・効果】

～東西を繋ぎ、日本経済を支える名古屋都市圏を水害から守る流域治水対策～

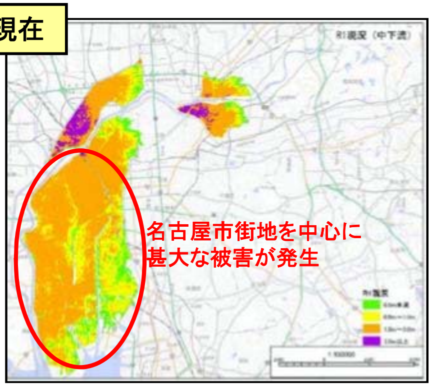
● 庄内川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
【短　　期】 名古屋市街地等での重大災害の発生を未然に防ぐため、狭窄部下流で水位低下を目的とした河道掘削等を主に実施。
【中　　期】 狭窄部の流下能力不足解消のため、枇杷島地区の3橋梁架替えを実施。
【中 長 期】 狭窄部上流部の浸水被害を防ぐため、洗堰改築や河道掘削等を実施し、流域全体の安全度向上を図る。
● あわせて、日本経済を支える産業集積地域である流域の特徴を踏まえ、安全なまちづくり（立地適正化計画に基づく防災指針の検討等）や内水被害軽減対策（雨水貯留施設の新設等）等の流域における対策、地下空間・地区タイムラインの活用等のソフト対策を実施。

区分	対策内容	実施主体	工程 短期	工程 中期	工程 中長期
	狭窄部下流の名古屋市街地等を守る河道掘削	庄内川河川事務所 愛知県・岐阜県	下流部（枇杷島下流）		下流部（枇杷島上流）
	狭窄部上流の多治見市街地等を守る河道掘削	庄内川河川事務所 愛知県・岐阜県		県道枇杷島橋完成	上流部、矢田川
	狭窄部対策（橋梁改築）	庄内川河川事務所 愛知県		JR東海道本線新幹線橋梁完成	
	●●の洗堰改築	庄内川河川事務所			
流域における対策	流出抑制対策	愛知県・岐阜県 多治見市（リーディング）　等		名古屋中央雨水調整池 広川ポンプ場の完成 （名古屋市）	雨水貯留施設の新設等 （多治見市）
流域における対策	内水被害軽減対策	愛知県・岐阜県 名古屋市（リーディング）　等			
流域における対策	「安全なまちづくり」に向けた取組	名古屋市（リーディング）　等		立地適正化計画に基づく防災指針 （多治見市）	
ソフト対策	被害軽減対策	庄内川河川事務所 愛知県・岐阜県 多治見市（リーディング）　等		関係機関の連携強化 （多治見市） 危機管理型水位計の設置 （●●市）	地下空間タイムラインの策定 （名古屋市）
ソフト対策	ソフト対策のための整備	●●市　等			

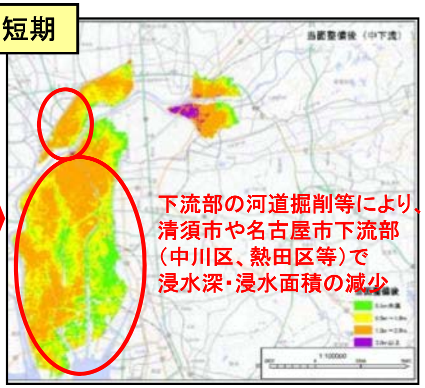
気候変動を踏まえた更なる対策を推進

※リーディング地区は今後追加予定。
※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

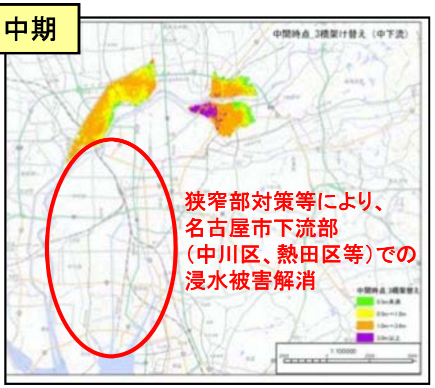
現在



短期



中期



中長期

浸水被害解消

※直轄管理区間において、平成12年9月洪水（東海豪雨）と同規模の洪水が発生した場合に、氾濫ブロックで被害最大となる1箇所を破堤させた場合の氾濫想定範囲